

新火葬場地域経過報告会でのおもなご意見について（報告）

【参加者数】

- （笠原地域）日 時 平成22年7月21日（水）午後7時～午後8時10分
場 所 笠原消防会館
参加者 31人
- （根本地域）日 時 平成22年7月22日（木）午後7時～午後8時30分
場 所 根本公民館
参加者 63人
- （南姫地域）日 時 平成22年7月23日（金）午後7時～午後8時30分
場 所 南姫公民館
参加者 32人

【笠原地域】

○質問 クリーンセンターの跡地に火葬場ができると、潮見公園や市之倉の窯元、新しく建設されるタイル博物館等とこの地域とのつながりが途絶えてしまうのではないのでしょうか。クリーンセンターの跡地には、火葬場ではなく、公園などの若い人達が集まってくるような施設をつくってください。

最近の火葬場は、文化施設のような外観を呈しているものも多く、また、隣接して公園を整備している例もあります。たとえば、この地域の特徴である、タイルや陶器を用いた外観など、観光客の方が見られた場合も、支障がないよう配慮していきたいと考えています。

○質問 長瀬町の火葬場は生活道路を経由する問題があるとのことですが、山の中に道路を通せばできませんか。

山の中に道路を通すという案についても検討しましたが、多大な費用と時間がかかるため、実現は困難であると判断しました。

○質問 この地域から三の倉センターは遠く、笠原クリーンセンターが無くなってしまうと大変不便です。一方的に笠原クリーンセンターを閉鎖して、火葬場を建てるということには納得できません。

合併の結果、2つのごみ焼却場を保有することとなったため、経費合理化の観点から、笠原クリーンセンターについてはごみ焼却を休止しました。新火葬場の建設地にならなくても、焼却ごみの持ち込みは22年度末までとして、以後はゴミステーションでの収集をしていくことをご理解をお願いしているところです。いずれにしても、笠原クリーンセンターの焼却場は取り壊すこととなりますので、跡地の有効利用の観点から、火葬場として候補地にいれさせていただいたものです。

○質問 先進地見学会の開催日は「かさはらいこまい祭り」の開催日です。この地域の多くの人は見学会に参加できません。

皆様に参加していただけるよう、土曜日・日曜日を対象とし、友引でもある日を選んだ結果8月7日としました。「かさはらいこまい祭り」の開催日であったという点に配慮できなかったことは大変申し訳なく考えており、再度、見学会を開催するよう検討いたします。

○質問 候補地入り口付近の道路は冬季、凍結し危険な箇所があります。道路幅の拡張などの対応をお願いします。

建設地に決まった際には、十分配慮して検討していきます。

○質問 火葬場だけでなく、相部屋特別養護老人ホームをつくってください。

特別養護老人ホームの新施設建設については、3年間単位の介護保険の事業計画の中で決めていくことですので、ご意見として受け止めさせていただきます。

○質問 長瀬町の候補地については、議会で一度決定したことが白紙に戻ったと聞いています。一度議会で決定したことをやめてしまうことは問題ではないですか。

有識者による候補地選定委員会で検討した結果、望ましい候補地として長瀬町とする答申が委員会から市長に提出されたもので、議会で決定したものではありません。

○質問 長瀬町の候補地は、道路整備などの影響で事業費が大きくなることが候補地断念の理由であると説明がありました。今回の候補地の中には民有地がありますが、民有地を買い上げると、同様に事業費が大きくなりませんか。

長瀬町においても、現火葬場の隣地に用地を購入する必要があります。また、道路建設費用については、候補地の北側から進む場合、隣にゴルフ場や住宅団地がある関係から、回りこむ形で道路を建設することになるため、多額の費用が必要となります。また、南側は中央道があり、中央道の上を越えるか、下にトンネルを作ることになるため、こちらも多額の費用が必要になります。

また、各候補地にはクリアしなければならない課題があり、取得費用の高さも課題のひとつと考えます。取得費用が高ければ、候補地としての評価が下がるということも考えられ、そうした点も含めて、候補地の全体的な評価を行ない選定していきたいと考えます。

【根本地域】

○質問 長瀬町の現在の火葬場の位置に、改めて新しい火葬場をつくることはできませんか。また、移転より現在地のほうが事業費も少なくなりますか。

現在の火葬場は、生活道路を経由しなければ施設に入ることができません。そのため、前回の選定時に新たな進入路の建設について検討しましたが、費用と年月という点で困難と判断し断念しました。なお、火葬場という施設の特性上、現在の施設を運営しながら新しい施設の建設を進めていく必要があることから、現在地でも用地取得は必要となり必ずしも事業費は少なくなります。

○質問 建設費が17億円という見積もりは過大ではないですか。

17億円の建設費は、他市の事例を基に、用地費及び造成費、取付道路を除いて建物及び炉の分として積算した額です。全体事業費は、土地が市有地であるか民有地であるか、また、接続する道路の状況等によっても異なってきます。そうした点も含めて各候補地について評価をしていきます。

○根本小学校から距離が近く、子どもの成育上よくないように思います。

新しい火葬場は煙突はなく、煙もほとんど出ず無臭です。また、緑地帯を設けることや、建物自体もできるだけ文化的な雰囲気のある建物とする等、今後、決定した候補地のみなさんに意見を伺いながら建物の外観等についても検討していきたいと考えます。

○質問 火葬件数の予測が年間1000体～1400体となっていますが、予測の幅が大きすぎないですか。

今後の人口は減少傾向にありますが、高齢化率は高くなり、亡くなられる方の数も増えていくと考えられます。増加率等については、その時の状況にもよるため明確に求めることは難しいのですが、現在よりも炉数を増加し、さらに炉の増設スペースを設けて対応していきたいと考えます。

○質問 松坂町の候補地は他の候補地と比べると近くに住宅も多く、候補地に入っていること自体が理解できません。市内には山も多く民家のないところもたくさんあるので、そうしたところに建てるべきです。

一定の面積があり、市内のセレモニーホールからも近く、幹線道路からの進入が容易である等の火葬場建設についての相応しいコンセプトを満たす場所であったため、候補地に選ばせていただいたものです。また、市内の開発されていない山の多くは保安林であり、開発が制限されています。各候補地を総合的に比較して、慎重に、相応しい建設場所を決めたいと考えています。

○質問 候補地の近隣に住んでいますが、現在、臭いや騒音、粉じんに悩まされています。更に火葬場を建設されてこれ以上周辺環境が悪化することは我慢できません。

新しい火葬場は、臭いや煙で周辺環境を悪化させることはありません。また、火葬場利用者の方の車両も一日50台から100台程度と予測され、環境への影響は大きくないと考えています。

○質問 現在の火葬場について、利用者からの苦情や周辺住民から移転してほしいという要望が届いていますか。

長瀬町町内会からは、新火葬場建設時には住宅団地ではない場所に建ててほしい、また、火葬場へ向かう車両が生活道路を通過するため、そうした状況を改善してほしいという内容の要望書が提出されています。なお、利用者からの直接の苦情は届いていませんが、担当としては、新しい火葬場が望まれていると感じています。

○質問 新しい火葬場の炉数は5基と計画されていますが足りませんか。

将来的な火葬件数の予測から5基を整備し、さらに1基追加ができるようスペースを確保します。また、従来の火葬時間2時間から1時間30分に短縮される予定ですので、十分対応できると考えています。

○質問 現在の火葬場でも、十分建て替えるスペースがあるように感じます。また、多額の費用をかけて派手な施設をたてる必要はないと思います。

現在の火葬場は待合室等も整っておらず、他市の例からも、新しく建設する際には現在よりも広い施設を建設する必要があると考えています。また、現在の施設を稼働しながら建て替えをすすめることとなりますので、建て替えには、さらに広い土地が必要になります。施設の内容につきましては、他市の例も参考にしながら、派手なものではなく、質素な中にも厳かな雰囲気のある建物が建設できればと考えています。

○質問 合併特例債を使用することですが、結局市が借金を増やすことになるのではないのでしょうか。

通常、火葬場建設には国の補助制度はありませんが合併特例債は、その70パーセントを国が負担するものです。現火葬場は老朽化が進んでおり、早急に建て替える必要がありますので、合併特例債という財源があるうちに是非建て替えをしたいと考えています。

○質問 合併特例債の期限にこだわって、今あわてて建設する必要がありますか。

新火葬場の建設については施設の老朽化が進んでおり、10数年前から検討を進めてきた経緯があります。また、建設当時の技術的な問題から、煙や臭いという問題も生じており、できるだけ早く施設を新しくする必要があると考えています。

○質問 説明中の他市の事例は成功例ばかりですが、他市の施設周辺の住民から意見を聞きましたか。

直接住民から意見を伺ったことはありませんが、視察した火葬場の管理者から話を聞いた限りでは、周辺の住民の皆さんから特に苦情を受けたことはないとのことでした。

【南姫地域】

○質問 他地域の報告会ではどのような意見が出たか教えてください。

笠原・根本の両地域で、現在火葬場のある長瀬町での建設を断念して改めて候補地を選定した経緯について質問がありました。現在の火葬場は周辺の生活道路を通らなければ火葬場に入ることができず、新たに進入路を設けることは時間と費用の点から難しいため、市として別の候補地を検討したい旨の説明をしました。また、笠原町においては、笠原クリーンセンターが廃止されることで不便になるというご意見、根本地域においては、周辺に住宅が多いことから反対というご意見が多くありました。

○質問 以前の候補地選定委員会では南姫地区の候補地は無かったようですが、今になって突然南姫地域が候補地にあげられたように感じています。広報などによる周知はありましたか。

3月の区長会や議会で報告させていただきましたが、広報紙による周知はしておりません。今後は鋭意周知に努めます。

○市ではセレモニーホールは作らないとのことですが、民間のセレモニーホールを建てることは認められますか。

この地域は市街化調整区域であり、建設が決まった場合は、都市計画決定を受けて火葬場を建設する形となります。なお、民間事業者の行なうセレモニーホールは都市計画法上建てることはできません。

○質問 火葬場の排水は川に流す予定ですか。川の水を利用して農業をしているため、感覚的に受け入れられません。

火葬には水を利用しませんので、火葬からの直接的な排水はありませんが、事務所やトイレで利用する水のみ排水されます。できるだけきれいな水を排水できるよう、浄化槽の管理について十分配慮したいと考えます。

○質問 火葬場からの排水や建設について、隣接する可児市の了承を得ていますか。

多治見市内で建設するものであり、建設に際して可児市の許可は特に必要ないと考えています。ただし、実際建設することになった場合には、可児市にも説明に伺う予定です。

○質問 候補地の山を切り開くと、川があふれる可能性があります。治水対策は考えていますか。

施設内に調整池を兼ねた池を作る等の対応を検討したいと考えます。

○質問 候補地はバイパスにも接しており、コンセプトにある静寂感のある場所にはあてはまらないように思います。

バイパスとは高低差があり、また周囲に緑地を残すことで施設内の静寂感は保てると考えています。

○質問 笠原の候補地については、土壌にダイオキシンの問題がありませんか。

焼却場は、基準をクリアするような施設にしてありましたので、土壌そのものに問題はないと考えています。ただし、建物を解体する際には十分な配慮を行う必要があると承知しています。

○質問 候補地決定までのスケジュールが非常に性急で、地元の意見を汲みとろうという姿勢が感じられません。地元でも委員会を立ち上げる等して、意見を集約する必要があると考えますが、このスケジュールでは対応できません。

現在のスケジュールは、事務局として当初に予定したもので、地元の方が委員会を立ち上げる等の新たな事情が生じた場合は、可能な限りスケジュールを変更します。ただし、財源的な理由で、合併特例債の期限である平成27年度完成を目指すという全体のスケジュールの中で弾力的に対応していきたいと考えます。

○質問 施設の運営はどのような方法を考えていますか。

市の施設で多く用いられている指定管理者制度を基本に検討したいと考えています。

○質問 以前の答申では、9000㎡の笠原の土地でも面積不足となっています。大藪町の候補地は面積的には問題がありませんか。

現在の段階では正式な測量を行っていません。正式に決定した後、測量を行った結果面積が不足した場合は、周辺の土地を求めることも検討したいと考えます。

○質問 先日の大雨の後、候補地の様子を確認に来ましたか。ため池がなくなると水が下に流れていくことは明らかなです。ため池がなくなった後の対策を考えていますか。

現地を直接確認はしていませんが、今回の大雨は想定を超える雨量で、各地で大きな被害があったことは把握しています。ため池に関しては現在使われておらず、県の調査からも必要がないとの結論が出されたことを受けて今回候補地にあげたものです。最終的にここを候補地とする際には、調整池等についても検討していきます。

○質問 建設検討委員会は公開されていますか。火葬場の情報は区長会で報告するだけでなく、ホームページや広報でしっかりと公開してください。また、議事録もきちんと作成してください。

6月1日の第1回委員会以来、会議の資料をホームページ上で公開し、議事録も作成しています。議事録は次回委員会で各委員に確認を受けた後、ホームページで掲載していますので、現在は第2回までの公開となっています。また、委員会は公開していますのでどなたでも傍聴していただくことができます。本日の地域報告会の内容につきましても、概要について地域回覧を行います。

○質問 関市ではセレモニーホールを併設し大変便利に利用していると聞いています。多治見市でもセレモニーホールを作る予定はありませんか。

市内には8か所のセレモニーホールがあり、近隣市の公営セレモニーホールでは利用率が下がっていると聞いており、併設の考えはありません。セレモニーホールを併設することは、施設や駐車場整備でさらに広い土地が必要になることや、利用者の出入りも深夜に及ぶなど周辺への影響も考えられます。なお、関市では、セレモニーホールを持たない葬祭会社が2社ほどあるため併設したとのことでした。